

こま
第2回 高麗郡中世歴史講演会

日高市は中世の鎌倉街道が通り、女影古戦場もあり、
高麗氏が活躍した中世史の宝庫の地。
板碑から見る武蔵武士の研究から、中世高麗郡の実態
に迫る！



いたび
板碑から見る武蔵武士
～中世高麗郡を中心として～

講師 国学院大学名誉教授 ちちわ いたる
千々和 到

高麗郡は
中世も
おもしろい

埼玉県は
日本一の板碑大国
なぜ？

2019年 3月 24日 日

13:30～16:20 受付・開場 13:00より

会場 日高市生涯学習センター
2F 視聴覚室

定員 150名 (先着順)
参加費 一般700円 「高麗1300」会員500円 (資料代等)
申込み 2019年2月7日(木)より 電話、FAX、E-mail、ホームページのいずれかで。
電話 042-978-7432 (月～金10時～16時)
FAX 042-978-7452 E-mail info@komagun.jp
ホームページ <http://komagun.jp> (トピックス記事「申込フォーム」から)

Program

- 13:00 受付
- 13:30 開会 主催者あいさつ
- 13:45 講演
「板碑から見る武蔵武士～中世高麗郡を中心として」
講師 千々和 到先生 (国学院大学名誉教授)
- 15:15 休憩 ※質問票の回収
- 15:30 トークセッション
「中世高麗郡と武蔵武士の生活」
講師 千々和 到先生
コーディネーター 新井孝重先生 (獨協大学教授)
- 16:20 閉会

主催 日本高麗浪漫学会 一般社団法人高麗1300
共催 日高市教育委員会
後援 埼玉新聞社 / テレ玉 / 飯能日高テレビ / 文化新聞



日高市四本木の板石塔婆

講師からメッセージ

いたび 中世の「板碑」の文化と高麗の里

2000年代の初め、突然のように「韓流ドラマ」、しかも歴史もののブームが起きました。その代表的なものは、「チャングムの誓い」でした。私も、熱心に見ていた一人ですが、どちらかと言うと、翌年に放映された「太王四神記」の方が衝撃的でした。これは、いわば青年・好太王に扮するペ・ヨンジュンが次々に悪しき者たちと戦って、世の中の平和を勝ち取り、最後は大きな「広開土王碑」が立つという場面で終える、というものだったかと思えます。私は、このドラマの放映される日を、楽しみにしていたものでした。

この「広開土王碑」は、現在は中国の領土の中にある5世紀の漢文の石碑ですが、建てられた当時は、もちろんそこは、高句麗の領土だったわけでしょう。そして、残念ながら、日本には、これほど古い石碑は、存在しません。

その好太王とも無縁ではない「高麗」の里で、私のささやかなお話をすることができるのは、本当に、ありがたいチャンスをお受けしました。ただ、その論題は、石碑としては関係があるものの、「板碑」という中世の石塔をめぐる話です。

板碑は、関東地方に多くあり、1200代から1600年頃まで、つまり鎌倉時代の初めから、中世が終わる時期までの間、作られ続けており、多くは、梵字という古代インドで使われた文字で仏を表現しているものです。

では板碑は、日高市にはいくつあるのか。

やや古い資料ですが、私の持っている『埼玉県板石塔婆調査報告書』によれば、281基ある、となっています。昭和56年（1981）の出版ですから、もう37年前の本になります。それからの時代の流れからすれば、ずい分と事情が異なりましよう。そのことに注意をしながら、考えて行きたいと思っています。

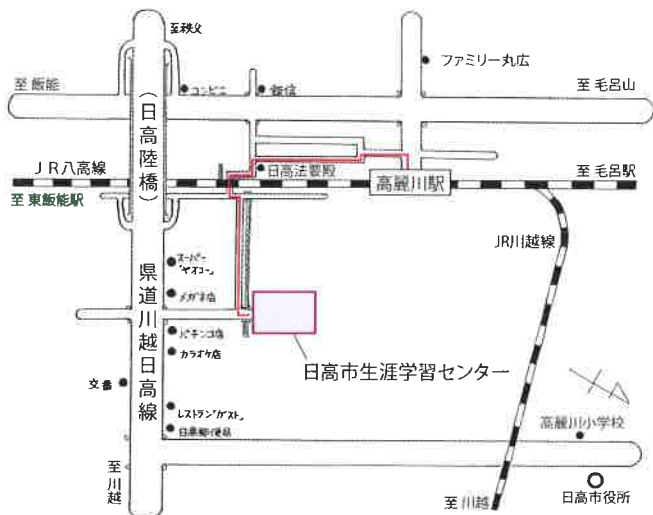


ちぢわ いたる 千々和 到氏 Profile

- 1947年 東京都目黒区に生まれる
- 1971年 東京大学文学部、卒業
- 1973年 東京大学大学院修士課程 修了
- 1973年 東京大学史料編纂所 入所
- 1993年 東京大学を教授で退職し、
国学院大学文学部史学科に転出
- 2018年 国学院大学文学部史学科を
定年退職

著書

- 『板碑とその時代』 平凡社 1988年
- 『牛玉宝印 祈りと誓いの呪符』（編著）
町田市立博物館 1991年
- 『国学院大学所蔵の牛玉宝印』（編著）
国学院大学神道資料館 2004年
- 『板碑と石塔の祈り』 山川出版社 2007年
- 『日本の護符文化』（編著） 弘文堂 2010年
- 『起請文と那智参詣曼荼羅』（編著）
朝倉書店 2017年
- 『飯能市郷土館収蔵の「おふだ」に書かれた
神代文字』
飯能市郷土館研究紀要8、2017年



会場までの交通案内

日高市生涯学習センター

埼玉県日高市鹿山370-20

☎ 042-985-5121

徒歩 JR高麗川駅より約7分
(タクシーで約5分)

車 県道川越日高線の日高郵便局
の交差点より約1分

駐車場 約50台（障がい者用あり）

※駐車場は限りがあります。できるだけ公共機関をご利用ください。

【問い合わせ先】 一般社団法人 高麗1300 (日本高麗浪漫学会) 事務局

☎ 042-978-7432

☎ 350-1231 埼玉県日高市鹿山 283-5-201